

平成24年10月18日(木) 中日新聞(西三河版)

6次総達成に向け 推進会議が提言書

高浜市長に提出

市民有志でつくる

「第六次高浜市総合計画推進会議」は、総合計画(二〇一一年～二〇一六年)の目標達成に向けて改善案のアイデアを提言書にまとめ吉岡初浩市長に提出した。推



吉岡市長(後列左から4人目)を囲む総合計画推進会議のメンバーたち。高浜市役所で

進会議は、市民や市職員ら百五十人が参加する「高浜市の未来を創る市民会議」の分科会リーダーらで構成。市民会議は九つの分科会で総合計画の具体化を話し合った。

提言書は総合計画のキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族 たかはま」のPRや、市の財政を感じるために子どもから大人まで楽しめるゲームの制作を挙げた。自治基本条例の子ども向け副読本を生かした出前授業や、生涯学習を広げるためのネットワークづくりのアイデアも示した。市は三年度予算編成で事業を企画・立案する上で参考にする。